

## 地域のニーズにこたえて

### ① 函館財務事務所

北海道教育大学函館校 地域協働推進センター

社会協働部門長 奥平 理

#### 【1】函館財務事務所との連携とチーム作りー前期

今年度も「地域プロジェクト」で、財務省函館財務事務所との協働で『財政教育プログラム』刷新協働プロジェクトに取り組んだ。4月から函館財務事務所の担当者と学生、奥平がチームを組み、「12月に函館市立本通中学校で行われる『財政教育プログラム』授業を実際に自分たちが行って成功させる」ことを目標に据えて、前期は昨年度の授業の振り返り、改善点や追加する内容を討議するグループワーク、函館財務事務所の担当者と学生、奥平によるディスカッションなどを積極的に実施した。7月31日には「中間発表会」が行われ、授業前半の「講義」の内容が完成したことを報告した。

#### 【2】函館市立本通中学校での授業と成果発表会にむけてー後期

後期に入ると学生の緊張感が高まりはじめたことから、綿密な授業計画書を立案させ、繰り返し模擬授業を行うことで少しずつ緊張をやわらげた。模擬授業終了後の反省会では、改善点について積極的な発言が学生からも相次いだ。そして12月21日、ついに函館市立本通中学校での公開授業日を迎えた。当日は函館財務事務所の皆様や北海道教育庁渡島教育局の皆様、市内の中学校の校長先生や報道各社の方が参観するなかで、学生たちはこれまでに培ってきた知識と経験を存分に発揮して、中学生の活発な議論を引き出すことができた。当初の目標は十分に達成することができたといえる。1月11日には公開授業の反省会を行い、学生からは思いのほか生徒たちの反応が素晴らしく、予定していた時間通りに進めることができたのは自信になった等、実りある実習ができたとの反応があった。そして2週間をかけて「成果発表会」の準備を行い、1月28日に1年間の成果を一般向けに公表することができた。



グループワークの様子

令和5年1月5日 北海道新聞（夕）2面

#### 財政の仕組みクイズで

本通中 函教大生講師に特別授業

函館財務事務所は、財政の仕組みを学んでもらう中学生向けの特別授業を函館市立本通中で開いた。道教大函館校の学生たちが講師を務め、社会保障と税金の関わりについて説明した。道教大函館校の奥平理准教授が指導する地域プロジェクトの一環で、昨年12月21日に実施。本通中3年の生徒約150人が参加した。授業では、学生7人がスライドやクイズを通して歳入や歳出など財政の仕組みを解説。この後、「大きな政府党」と「小さな政府党」の二つの架空の政党名でそれぞれ政策を紹介し、生徒たちはタブレット端末を使って支持する政党に模擬投票した。参加した本通中の田中沙音さん(16)は、消費税の廃止などを掲げた「小さな政府党」に投票した。「税金の使われ方を財政の仕組みがよく分かった」と話した。(芝垣なの香)

#### 【3】おわりに

2年目の函館財務事務所との協働事業は、無事にそして成功裏に終了した。これも、函館財務事務所の皆様や北海道渡島教育局、函館市立本通中学校の皆様、そして本学関係の皆様からの温かいご支援とご協力、ご指導の賜物であり、この場をお借りして、心より御礼申し上げたい。